

エコ住宅モデル事業

施策のポイント

本市公営住宅への木製内障子の導入により、そのエコ化を図り温暖化の防止に寄与し、同時に建具業界での雇用を確保する。県内ひいては全国での内障子導入のための実験と実証を行い、更に一般住宅への広がりを目指す。

自治体情報

福岡県大川市

人口 / 38,332人

標準財政規模 / 22,523,100千円

担当課 まちづくり推進課

電話番号 代表 0944-87-2101 内線 212

実施主体 大川市

関連ホームページ

事業期間 平成 22 年度から

参考とした施策

関係施策分類 ⑤

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

地球規模での温暖化が問題になる中、国や福岡県では CO2 削減の取り組みなどが進められており、大川市においても第 5 次長期総合計画の中で環境対策を強化する方針を掲げ、地球温暖化対策などに取り組むものである。また、建具業界再生のため、公営住宅ひいては一般住宅への木製内障子設置の広がりを目指す。

2 取り組みの具体的内容

木製内障子設置に向けて具体的な型式・材質の検討等を行うため、「エコ住宅モデル事業」検討委員会を設置。本市副市長を委員長とし、委員は福岡県インテリア研究所から 1 名、福岡県建具・木工協同組合から 1 名、本市まちづくり推進課長、本市インテリア課長の計 5 名で構成。平成 22 年 4 月 7 日の第 1 回会議以降 4 回の会議を開催し、設置する内障子の型式・材質等の選定、設置前後の検証方法の検討を行った。

その結果、内障子取付枠と内障子については源平杉の集成材、紙については和紙を使用することに決定。検証方法については、本市公営住宅のうち 2 階以上の階の約 60 戸を、また空部屋 4 戸をモデル住宅として、木製内障子を施工し、施工前後の電気使用量の変化（現に本公営住宅入居中で、木製内障子を設置した住民に協力依頼）、温度・湿度・熱貫流率（空部屋 4 戸で測定）を調査することが決定した。

また取付方法は、まず住宅既製枠の寸法を採寸し、その後工場にて枠を作成。現場では簡単に短時間で設置できるといった点をアピールポイントとしていく方針。更に、この取付方法を「大川建具マルチ工法」と命名することに決定した。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- (1) 木製内障子の設置による室内の適温・適湿度化
- (2) 電気使用料量の減少
- (3) 県内公営住宅への広がり、国の「公営住宅ストック改善事業」への採用及び一般住宅への広がり
- (4) 建具業界での雇用の確保

4 現在までの実績・成果

- (1) 平成 22 年度、市営住宅 46 戸 138 ヶ所に設置。
- (2) 空住宅を利用し、木製内障子設置の有無による室温比較テスト実施中。

5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

木製内障子の設置による効果検証のため、空室 4 室を確保し、温度・湿度・熱貫流率の数値を測定予定。

また、電気使用料については、モデル住宅居住者に協力依頼予定。

6 今後の展開と課題

電気使用量の推移を調査するモデル住宅への内障子の設置は平成 22 年 7 月末に完了し、1 年後に比較予定。



予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳（財源区分：①～⑤）				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
10,000 千円		0 千円	7,465 千円	0 千円	0 千円	10,000 千円
①～④の名称、 所管など	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					

提供可能資料：エコ住宅モデル事業検討委員会要綱 エコ住宅モデル事業推進方針